

会 議 録

1 会議名

令和元年度 第7回三郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 地域活動支援事業 募集要項及び審査・採択のルールについて（公開）

(2) 自主的審議事項「三郷区の人口減少について」（公開）

3 開催日時

令和2年1月24日（金） 午後6時25分から午後8時10分まで

4 開催場所

三郷地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・ 委 員：山口典夫（会長）、竹内浩行（副会長）、保坂裕子（副会長）、
尾崎祐三、佐藤 功、二野 浩、保坂真由美、山田宏文、横尾彰平

・ 事務局：南部まちづくりセンター 堀川センター長、佐藤係長、小林主任

8 発言の内容

【小林主任】

・ 池内委員、伊藤委員、加藤委員を除く9人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は山口会長が務めることを報告

【山口会長】

・ 会議の開会を宣言

・ 会議録の確認：二野委員、保坂真由美委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

- ・資料により説明

【山口会長】

- ・事務局の説明について質疑を求めるがなし

—次第3議題（1）令和2年度地域活動支援事業 募集要項及び審査・採択のルールについて—

【山口会長】

次第3議題（1）「令和2年度地域活動支援事業 募集要項及び審査・採択のルールについて」に入る。

前回の会議では、令和2年度に向けて改善すべき点について協議し、「三郷区の採択方針」に人口減少対策や青少年の健全育成に関する事業を加えることに決め、文言は正副会長一任としていた。

正副会長で協議した結果を反映した資料をNo.1～No.4のとおり作成したので、本日は、資料のとおりでよいかを協議したい。

資料について、事務局に説明を求める。

【小林主任】

- ・資料No.1～No.4により説明

【山口会長】

- ・資料について意見、質疑を求めるがなし
- ・令和2年度の募集要項や審査・採択ルール等を資料のとおりとすることを諮り、委員全員の了承を得る

—次第3議題（2）自主的審議事項「三郷区の人口減少について」—

【山口会長】

次第3議題（2）「自主的審議事項『三郷区の人口減少について』」に入る。

前回の会議では、今後の議論の進め方を確認した後、2つのグループに分かれて三郷区のよいところについて話し合った。グループ討議は本日を含めて残り2回行

う予定だが、その進め方について事務局に説明を求める。

【小林主任】

- ・本日行う2回目のグループ討議では、三郷区の住民を対象にしたマップの内容と配布・活用方法について検討する
- ・内容は、資料No.5「三郷区のよいところ一覧」の中から、特に住民の方々に伝えたい魅力10個を選ぶ
- ・次回のグループ討議では、外部の人を対象にしたマップについて検討する

【山口会長】

事務局の説明について質疑を求める。

【二野委員】

魅力を10個絞り出すとのことだが、「モノ」「コト」「ヒト・雰囲気」「その他」から個々に10個ということか。

【小林主任】

個々にではなく、全部で10個である。

考え方はいろいろあるかと思うが、例えば歴史の特集を組みたいということで歴史関係の魅力を10個選んでも結構だし、バランスよく2つ～3つずつ選んでも結構である。資料No.5に挙がっているもの以外で新しく追加しても結構である。

【山口会長】

- ・班割りは前回配布した班割りの表のとおり
- ・進行役は両副会長、記録係は事務局が行う
- ・グループ討議の時間は60分程度
- ・時間になったら再度全体で集まり進行役の両副会長が結果報告を行う

【小林主任】

本日欠席の池内委員、伊藤委員、加藤委員が3人ともA班で、両班のバランスが悪くなってしまうので、今回に限り横尾委員にB班からA班に移ってもらう。

—グループ討議—

【山口会長】

両副会長に結果報告を求める。

【竹内副会長】

A班としては、三郷区の住民向けの内容として、歴史的な建造物及び歴史的な人物等を主体としながら発信したらどうかというところで協議を進めた。その中で、まず三郷区の4寺院。今池の向源寺、長者原の明善寺・西福寺、西松野木の勝念寺。また神社として下稲塚の六合神社と、歴史的な建物をまずピックアップしていったらどうかという話になった。あと、歴史的な人物として、長者町の緑川庄七、下四ツ屋の木村孝禅、あとは初代村長、初代中頸城郡長の渡部健蔵。区内には知らない人もいるとのことなので、発信したらどうかということになった。あとは、中江用水の関係で中江用水の説明の看板。笛吹観音もいろいろといわれがあり、三郷村史にも出てくる。「笛吹」という名前の由来を三郷区内に発信していきたいと思っている。魅力を10個という話であり、歴史的な建造物や人物を挙げると10個になってしまうが、資料No.5の中から関連するものをピックアップしていくのがよいと思う。

また、妙高山、火打山、焼山の眺めが素晴らしいとのことから、表紙にしたらどうかという意見も出た。そのような形で頸城三山の眺めがよいところをアピールしていきたい。これは次回の区外へ発信にも関わるものだと思う。

活用方法だが、マップができた暁には、それを基にウォークラリーやスタンプラリーなどでお寺を巡るツアーを実施してはどうか。配布方法は、全戸配布のほか、三郷小学校、三郷地区公民館、三郷郵便局等に配置しながら内外の人に見てもらうような形がよい。

地図上には、三郷小学校、三郷郵便局、デイホーム三郷など、目印になる公共的な建物を配置し、位置的なものが把握できるようにすればどうか。

【保坂副会長】

B班だが、マップに直接落とし込めるものを7つ、マップに落とし込めないが紙面を工夫して載せたいものを3つ挙げた。マップに落とし込めるものとしては、歴史的なものとして、向源寺、勝念寺、布施長者伝説、三郷村の解村碑、笛吹観音。笛吹観音は三郷区にはないが、大町の神社で保管してもらっている。あとは、六合神社、下四ツ屋にある秋雨宛・木村孝禅住宅跡。マップに落とし込めない3つは、

初代郡長や村長のほか、昭和46年に上越市が誕生した時の初代市長が三郷区出身ということで、1つのくくりとして挙げる。あと素晴らしい景色ということで、妙高山、火打山、焼山が見えることや、各町内にある桜が見事な公園をいくつか載せる。もう1つは、年間のいろいろなイベント。大運動会、夏祭り、ウインターフェスティバルなど、地元の人なら知っていることだが、このようなイベントを通して住民の横の繋がりを大切にしていることをPRするのに、イベントを1つのくくりとして入れたらどうかという意見が出た。

配布・活用方法では、全戸配布をするが、配り方として、町内会長の会議で説明してから配るということで、町内会長からも協力してもらおう。配った後はイベントでの活用ということで、例えば体育振興会の健康ウォークで実際に歩いてもらうような活動をするとういのではないかという意見が出た。

【山口会長】

今回の会議は、本日の続きから協議を進めたい。

—その他—

【山口会長】

次に、その他として、令和2年度以降の地域協議会だよりの配布方法について改めて確認する。

前回の会議では、令和2年度以降のたよりの配布方法について、全戸配布と班回覧のどちらがよいかを採決し、班回覧にすることに決まった。このことについて、事務局から説明があるとのこと。事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

令和2年度以降の地域協議会だよりの配布方法について、再度の確認として話をする。既に前回会議で地域協議会としての結論が班回覧と出ているところではあるが、他の区の結論が出揃ってきたので、その情報提供と、他の区の協議の様子を見ると、三郷区の場合はいささか早足で、議論が尽くされないまま採決を取ったのではないかと思い、改めて確認をさせてもらおう。

他の区の状況としては、南部まちづくりセンター所管の高田、金谷、和田では、

地域協議会として全戸配布を希望するとの結果になった。また、旧町村13区では、協議未了の名立を除き、全ての地域協議会が全戸配布。北部まちづくりセンター所管の直江津、有田、北諏訪も全戸配布。残りの八千浦、保倉、谷浜・桑取はこれから協議。中部まちづくりセンター所管の春日は全戸配布。新道と津有が班回覧。諏訪、高士はこれから協議ということで、今のところ三郷を除くと2区が班回覧という状況である。また協議方法も、高田、金谷、和田については、委員1人ずつ意見を聞いた上で採決をしている。前回の会議では、事務局が作成した進行順序に不十分な点があり、意見を聞かないまま採決に進んでしまった。事務局として心配になったので、前回の決定事項は決定事項だが、各委員から意見を出してもらい、その上でそのまま班回覧にするか、再度採決を取り直すか、協議してみることを提案する。

【山口会長】

- ・全戸配布と班回覧のどちらがよいか各委員の考えを聞く機会を設けることについて意見がなかったため、各委員の考えを聞くことを諮り、委員全員の了承を得る
- ・先ほどの事務局の説明を踏まえ、全戸配布と班回覧のどちらがよいか、委員に意見を求める

【横尾委員】

当初から全戸配布を提唱していた。変わらず全戸配布でよいと思う。班回覧だとそれを頭の中に入れておくのはなかなか難しいし、興味のあることは後からじっくり見たいということもあるので、班回覧は反対で全戸配布がよいと思う。

【山田委員】

全戸配布をした方が皆さんに行き届いてよいのではないかなと思う。班回覧だとその時は見ても、1週間経ったら忘れるようなこともあるのではないかな。

【保坂真由美委員】

横尾委員、山田委員同様、全戸配布がよい。

【二野委員】

私も全戸配布がよいと思っている。班回覧だと、その場で見たか見ないうちに回してしまう。資料として残しておいてほしい。

【佐藤委員】

私も皆さんと同意見。町内でいろいろな回覧物が回っているが、回覧物を見たか見ないか分からないという話が結構多い。全戸配布の場合、大事なものは残しておけるし、家族全員が目を通すことができるので、ぜひ全戸配布でお願いしたい。

【尾崎委員】

私は班回覧でよいと思っている。経費節減が一番だが、大事なことであれば書き留めていると思うし、班回覧といっても今日来たものをすぐに見てすぐに回さなければいけないものではない。皆さんの町内でも、他の大事なものも班回覧で回っているかと思う。その場合でも、家族で見たり、書き留めておいたりすることも多いと思う。今後、他の書類も班回覧になっていくと思う。広報上越も月2回から月1回になると聞いているし、社協だよりも班回覧になると聞いている。それに追随して、班回覧でも私は問題ないと思っている。

【竹内副会長】

私は全戸配布がよいと感じている。地域協議会の知名度はまだまだであり、「どのような活動をしているのか分からない」という話を聞く場合もあることから、やはり全戸に配布した方がよい。活動内容を周知する数少ない方法の1つが地域協議会だよりだと思うので、全戸配布してもらい、我々の活動内容や思いを言葉にして、写真等も付けて、目で見てもらいたい。

【保坂副会長】

私も全戸配布でお願いしたい。理由は、認知度がもう少し上がってほしいということと、活動内容を丁寧に書いているので、それを班回覧にするのはもったいない。もっと地域協議会のことを住民に知ってもらいたいという願いを込めて、全戸配布でお願いしたい。

【山口会長】

- ・前回と比べて各委員の意見が変わってきたことから、改めて全戸配布と班回覧のどちらがよいかを採決することを諮り、委員全員の下承を得る
- ・全戸配布に賛成か反対かを採決した結果、賛成多数により全戸配布を希望することに決する
- ・後日、町内会長協議会に全戸配布をお願いできないか協議し、その結果を次回以降の会議で報告する

—次第4 事務連絡—

【山口会長】

次第4「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

・今後の日程

第8回地域協議会：2月13日（木）午後6時から 三郷地区公民館

地域協議会活動報告会：2月27日（木）午後6時30分から 三郷地区公民館

第9回地域協議会：3月19日（木）午後6時30分から 三郷地区公民館

・配布資料

参考資料 公の施設の再配置計画策定に係る取組状況について

春日区における冬季の通学路の安全確保について（春日区地域協議会意見書写し）

地域協議会委員募集チラシ

上越市創造行政研究所ニュースレター「創造行政」

「第10回信越県境地域づくり交流会」のご案内

連続フォーラム「地域課題からみた学校教育の将来像」開催案内チラシ

ウィズじょうえつからのおたより

【山口会長】

・事務局の説明について質疑を求めるがなし

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課

南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831（直通）

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。